

分娩取扱施設における 災害発生時の体制整備に向けた シンポジウム

～母子のための後方支援の体制整備にむけて～

日時：平成29年11月3日（金・祝）

会場：秋葉原コンベンションホール



主催：公益社団法人 日本看護協会

平成 29 年度「分娩取扱施設における災害発生時の体制整備に向けたシンポジウム」
～母子のための後方支援の体制整備にむけて～
開催要項

1. 背景

全国各地での災害発生を受け、「周産期医療体制のあり方に関する検討会意見の取りまとめ」（平成 28 年 12 月）では、周産期母子医療センターを有する医療施設と災害時小児周産期リエゾンが連携し、訓練を実施する必要性が明記されています。また、災害時に周産期母子医療センター等を中心とした、地域全体における災害時の対応計画を作成する必要性等についても記されています。

本会の「看護の将来ビジョン」（平成 27 年 6 月）では、「発災直後から、人々の生命や暮らしを守るために活動を開始すること」、「緊急の事態が収束した後も、中長期的に 住民、行政機関、保健・医療・福祉機関、ボランティアなどと連携して被災者の健康と暮らしを守ること」を明記し、災害時の支援体制を構築しています。

平成 29 年度に本会が設置した「母子のための地域包括ケア推進検討委員会」では、災害発生後、総合周産期母子医療センター等の災害拠点病院を中心に分娩依頼が集中する為、経過が順調な母子を早期に退院させた後の支援のあり方が課題に挙げられました。また、災害時における母子の為の避難所については、父親と一緒に入所できない等の理由から、熊本地震では車中泊が多かったことも報告されています。産後 6 週間は、特に支援が必要な時期にも関わらず、母子を受入れるための施設整備は十分とはいえません。

以上を踏まえ、本シンポジウムでは、災害発生後、総合周産期母子医療センター等を中心に地域全体で妊産褥婦と新生児およびその家族に必要な支援を行うための後方支援のあり方について、好事例を共有し、それぞれの地域の特徴や施設機能を踏まえた災害対策の整備にむけた課題解決の示唆を得る機会とします。

2. 目的

以下に目的に基づいて、標記シンポジウムを開催します。

- 1) 周産期における災害時の体制整備について、現状と課題を共有する。
- 2) 災害発生後の母子支援にむけた、後方支援の体制整備について好事例を共有し、地域における災害対策の課題と課題解決のためのヒントを得る機会とする。

3. 会場：秋葉原コンベンションホール

〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル

4. 日時：平成 29 年 11 月 3 日（金・祝） 10:00～16:00

5. 対象：・分娩取扱施設等に勤務する看護管理者および助産師・看護師等

・災害対策に関わる都道府県行政担当者および都道府県看護協会担当者等

以上

プログラム

	ページ		ページ
10:00～10:10		開会のあいさつ 日本看護協会 会長 福井 トシ子	
10:10～10:20		趣旨説明 日本看護協会 常任理事 吉川 久美子	
10:20～10:50		講演 「わが国における災害医療の現状と課題」 厚生労働省 医政局地域医療計画課 災害時医師等派遣調整専門官 小谷 聡司氏	1
10:50～11:30		講演 「災害時小児周産期リエゾンの活動と 助産師に求められる役割」 あいち小児保健医療総合センター 救急科医長 伊藤 友弥氏	2
11:30～12:20		講演 「周産期における災害医療への 新たな取り組み」 -日本産科婦人科学会大規模災害対策 情報システムを活用したネットワーク構築- 日本産科婦人科学会震災対策・復興委員会委員 久留米大学医学部産科婦人科学教室 津田 尚武氏	28
12:20～12:30		質疑応答	
12:30～13:30		昼食	
13:30～15:15		シンポジウム 「災害発生後における母子のための 後方支援の体制整備にむけて」 (座長) 日本看護協会 常任理事 吉川 久美子 大阪府看護協会 助産師職能委員長 宮川 祐三子氏 (シンポジスト) ● 総合周産期母子医療センターの取組み 高知医療センター NICU・GCU 看護部長 関 正節氏 ● 地域周産期母子医療センターの取組み 福田病院 病院長 河上 祥一氏 ● 診療所の取組み 小林産婦人科医院 院長 小林 高 氏 ● 助産所の取組み とも子助産院 院長 伊藤 朋子氏	40 52 58 70
15:15～15:45		全体討議	
15:45～15:55		まとめ	
15:55～16:00		閉会のあいさつ 日本看護協会 常任理事 吉川 久美子	
		【参考資料】 疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制構築に係る指針(抜粋版)	78

